

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

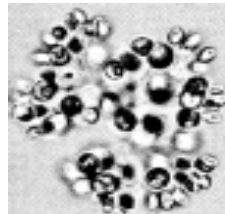
水質科

平成12年6月19日 第12報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体系数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	5		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	110		
(珪) <i>Navicula sp.</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	40		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	80		
(緑) <i>Dictyosphaerium tetrachotomum</i>	50		
(緑) <i>Scenedesmus sp.</i>	40		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	1		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	10	2.9	2.3
(珪) 珪藻綱	125	36.1	30.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	120	34.7	55.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	91	26.3	11.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	346	総体積	1.47E+05
種類数	9	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体系数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。



(図1)

## 動物プランクトン

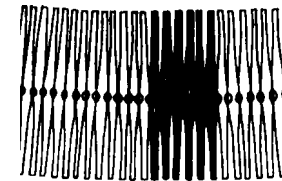
第1優占種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	420

第2優占種	個体数 (個体/l)
甲殻類 <i>Bosmina longirostris</i>	160

\*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

### 植物プランクトン第1優占種

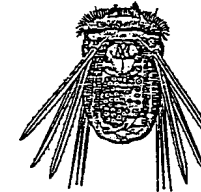
***Fragilaria crotonensis***  
(オビケイソウ)  
珪藻綱



多数の細胞が中央殻面で互いに接しあって、帯状の群体を形成して浮遊する。

### 動物プランクトン第1優占種

***Polyarthra vulgaris***  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類



体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。

### コメント:

植物プランクトンはウログレナの減少の後、緑藻の増加が見られず、細胞数、種類数とも少なかった。緑藻のディクテオスファエリウム テトラホトマム(左図1)の細胞は球形ではなく、卵形である。細胞は寒天質系に対し、斜めにつくが、細い方の端で寒天質系につく。温帯に広く分布するとされている。動物プランクトンでは、ハネウデワムシのほかにゾウムジンゴが多かった。